

報 告 事 項

令和 6 年 1 1 月 2 7 日

教 育 政 策 課

令和 7 年度教育予算について

令和 7 年度教育予算について、別紙のとおり報告いたします。

令和7年度 教育委員会予算要求総額

(R7予算要求総額)

単位:千円

予算要求総額	一般財源	特定財源
12,270,890	9,169,309	3,101,581

対R6予算 2,893,290

総額 28.9億増

※参考

(R6予算要求総額)

単位:千円

予算要求総額	一般財源	特定財源
11,142,657	9,065,893	2,076,764



○6予算額

単位:千円

内示額	一般財源	特定財源
9,377,600	6,508,006	2,869,594

対要求 △ 1,765,057

総額 17.7億減

令和7年度当初予算 主要要求事業(新規)

(単位:千円)

	事業名	要求額
1	学びの多様化学校設置事業	84,541
2	学びの環境リニューアル事業(机・椅子)	30,000
3	学びの熱中症対策事業(ミスト扇風機)	10,000
4	スポーツビジネスコース新設	29,327

■令和7年度 重点事業説明資料

区分	新規
対応要求 ページ	42,43,76,77 資料 27,45

款/特会	部局室名	課所室名	事業名
教育費	教育部	学校支援課	学びの多様化学校設置事業
予算区分/項目	公マネ/公マネ事前協議	事業年度	R7 年 ~ R7 年

(単位:千円)

区分	R4決算	R5決算	R6予算	R7要求	査定
事業費	0	0	0	84,541	
財源内訳	国庫補助			13,886	
	県補助				
	地方債			8,500	
	その他				
	一般財源	0	0	62,155	0
未利用財産検討委員会の判定区分			優先度		
敷地の状況	解体後の敷地の方向性		敷地所有権		
	面積(m ²)		単価(円)		
	売却見込(千円)		貸付収入見込(年間)		

○要求に至った経緯や事業の必要性

文部科学省の「COCOLOプラン」が示す方針に沿って、公立の「学びの多様化学校」を令和8年4月に開校するもので、多種多様で一層複雑化する背景をもつ不登校生徒(中学生)の実態に即した不登校支援を行う学校とするために、現在の文洋中学校分教室(現関西小学校内)の施設を拡充するもの。当該事業に伴い、移設・改修が必要となる「教育支援教室かんせい」についても、あわせて整備を行う。



学びの多様化学校
くつろぎスペース



学びの多様化学校
2階1年教室



教育支援教室かんせい
職員室に改修予定

○特定財源の内容

学校施設環境改善交付金(その他) 補助率1/2 市債(学教債)

教育支援体制整備事業費補助金(いじめ対策・不登校支援等総合支援事業) 補助率1/3

施設規模

対象者:中学生

定員 :30人(1学年10人)

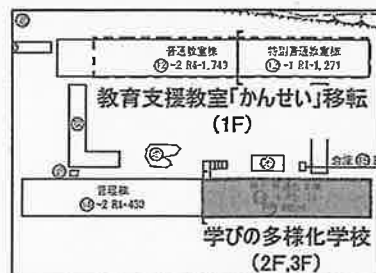
施設概要

2階:職員室、面談室、便所、
くつろぎスペース、教室×1

3階:プレイルーム、面談室、
便所、教室×2

整備内容

内装等改修、エアコン設置、校名板、校章設置



<要求額の内訳>

節	要求額	積算根拠等
需用費 消耗品費	5,388	カタログ価格参考
役務費 手数料	390	業者見積りによる
委託料	2,927	事業実績による
備品購入費	8,636	事業実績による
工事請負費	67,200	
合計	84,541	

■令和7年度 重点事業説明資料

区分		新規	
対応 ページ	要求 書	30,64	資料 -

款/特会	部局室名	課所室名	事業名
教育費	教育部	学校支援課	学びの環境リニューアル事業 (机・椅子)
予算区分/項目	ふるさと基金事業	事業年度	R7 年 ~ R9 年

(単位:千円)

区分	R4決算	R5決算	R6予算	R7要求	査定
事業費				30,000	
財源内訳	国庫補助				
	県補助				
	地方債				
	その他			30,000	
	一般財源	0	0	0	0

○ 基金の充当分野

①子育て支援等次代を担う人材の育成に関する事業

○ 事業概要

本事業は、新JIS規格に対応した机・椅子を小・中学校全児童・生徒に導入することにより、端末機器等を活用する授業において旧JIS規格よりもサイズアップすることで快適な学びの環境を準備し、学習意欲・学習能力の向上を目指し、時代のニーズに沿った「新しい生活様式」に対応するもの。

○ 事業の必要性

1人1台端末の導入や電子黒板の活用など教育ICT化が進み、その環境が令和の学びのスタンダードとなっており、特に電子機器等を活用する授業において、旧JIS規格の机では、机上の広さ・幅など快適な学びの環境を確保できていない状況である。

(参考)

令和5年第3回市議会定例会において、「備品の老朽化について」一般質問があり(恵良議員)、学びの環境整備のスピードアップ化が求められている。

○ 事業の計画 (新JIS規格の机・椅子の更新)

【千円】

内訳	R7	R8	R9	合計
小学校	10,000	20,000	35,000	65,000
中学校	20,000	15,000		35,000
合計	30,000	35,000	35,000	100,000

老朽化した机・椅子



< 要求額の内訳 >

節	要求額	積算根拠等
需用費 消耗品費	30,000	事業実績価格による
合計	30,000	

■令和7年度 重点事業説明資料

区分		新規	
対応 ページ	要求 書	12,26,60	資料 -

款/特会	部局室名	課所室名	事業名
教育費	教育部	学校支援課	学びの熱中症対策事業 (ミスト扇風機)
予算区分/項目	ふるさと基金事業	事業年度	R7 年 ~ R7 年

(単位:千円)

区分	R4決算	R5決算	R6予算	R7要求	査定
事業費				10,000	
財源内訳	国庫補助				
	県補助				
	地方債				
	その他			10,000	
	一般財源	0	0	0	0

○ 基金の充当分野

①子育て支援等次代を担う人材の育成に関する事業

○ 事業概要

年々異常気象の発生頻度が増加し、猛暑日・酷暑日が増え続けている夏期の授業等の実施において、継続的に快適な学びの環境を確保するため、全小中学校においてメーカー保証期限の5年を経過した「ミスト扇風機」の更新を一斉に行うもの。

※小学校41校、中学校21校:計62校(蓋井中、内日中については小中一貫校として小学校で導入)

○ 事業の必要性

令和2年度に「ふるさとしものせき応援基金」を活用して各小・中学校へ導入したミスト扇風機は、昨今から続く真夏日(猛暑・酷暑)における屋外授業、屋外活動等において、児童・生徒・教員等の熱中症事故の防止、体調管理等の安全確保に大変寄与しており、毎年、その導入効果について学校側から喜びの声をいただいている。

しかしながら、導入から5年を経過し、各学校から動作不具合の相談が頻発し、応急修繕等が発生しており、復旧作業まで期間を要しており、その間、児童・生徒等が屋外授業等の暑さから我慢を強いられるケースが発生しているため、来年度早々に更新を行う必要がある。

○ 事業の計画 (ミスト扇風機の更新)

(千円)

内訳	単価	個数	金額
小学校 (41校)	50	125	6,250
中学校 (21校)	50	65	3,250
予備 (事務局)	50	10	500
合計	-	200	10,000

ミスト扇風機



< 要求額の内訳 >

節	要求額	積算根拠等
需用費 消耗品費	10,000	導入実績による
合計	10,000	

令和7年度 重点事業説明資料

区分		新規	
対応 ページ	要求 額	12,21	資料 3,24, 25

款/特会	部局室名	課所室名	事業名
教育費	教育部	下関商業高等学校	スポーツビジネスコース新設
予算区分/項目	新規施策経費	事業年度	令和7 年 ~ 令和7 年

(単位:千円)

区分		R4決算	R5決算	R6予算	R7要求	査定	
事業費					29,327		
財源内訳	国庫補助						
	県補助						
	地方債						
	その他						
	一般財源	0	0	0	29,327	0	
政策課題		令和6年度志願倍率(推薦入学者含む)が前年度を大きく下回った。 〔下商志願倍率 :R5 1.6倍 / R6 1.0倍〕					
課題に対するアプローチ		公立高等学校の中で周辺の高校にないスポーツビジネスコースを新設し、志願倍率の上昇を図る。					
事業概要		スポーツに関して専門的に学ばせることで、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を身につけさせ、商業とスポーツ双方の専門性を生かして、地域のスポーツや健康分野におけるビジネスの振興発展に貢献する人材を育成するコースを新設するもの。					
活動指標(アウトプット＝自分が)			開始時	R8	R9	R10	最終(R●)
専門体育科目の開講数			計画	1	3	4	
			実績	0			
			達成率	0%	0%	0%	
成果指標(アウトカム＝相手が)			開始時	R8	R9	R10	最終(R●)
志願倍率			計画	1.3	1.3	1.3	
			実績	1.0			
			達成率	0%	0%	0%	

○入学時、「商業に関する学科」として「くくり募集」(定員160名)し、2年次に進級する際に、生徒の希望により2学科7コースに分かれる。

1年次	2・3年次	
商業に関する学科 (160名)	商業科 (130名)	「経営」コース
		「地域連携」コース
		「情報」コース
		「会計」コース
		「スポーツビジネス」コース
	情報処理科 (30名)	「情報」コース
		「会計」コース

<要求額の内訳> 体育館トレーニングルームの修繕・機器の購入(消耗品・備品)

節	要求額	積算根拠等
修繕費(管理費)	5,422	見積書
消耗品費(教育振興費)	1,791	カタログ
備品購入費(教育振興費)	22,114	カタログ
合計	29,327	